



道徳参観日 2年「ぼく」

11月5日（水）の道徳参観日には、ご多用の中、多数学校にお越しくださりありがとうございました。2年生は、「ぼく」という教材文を使って「生きること」について考えました。

授業の冒頭で好きなものを次々と発言する子どもたち。とてもうれしそうでした。教材文の「ぼく」もいろいろなものが大すき。家族、友だち、ペット、食べ物…次々に挙げられる「好きなもの」の挿絵を見ながら、「うん、うん。自分も」と共感しながら聞いていたと思います。

でも、主人公「ぼく」の「一ばん好きなものは『ぼく』』という言葉から、もし自分自身がいなくなったら…ということをイメージした時、少し教室の空気が変わり静かになったように思いました。

ワークシートに好きなものを書き出す活動では、一人一人が主人公の「ぼく」と同じように大好きなものがたくさんあることに気付かせました。その後、当たり前のように好きな家族や好きな物に囲まれて生活しているけれど、もし自分がそこに存在していなかったら…ということをイメージさせました。

「自分がいなくなると、大好きな人やものと出会うこともない。」、「自分の未来もなくなる。」という発言があり、自分が生きていること自体が大切なことであり、素晴らしいことなのだとまとめました。

最後に、自分の良さについて自分自身に賞状を書く活動をしました。これからも自分の良さを認め、自分のことを好きになって人生を歩んでいってほしいです。

